

「在宅介護ファイルノート」

～医療と介護の連携に向けて～

多摩市健康福祉部介護保険担当

■ 多摩市在宅ノート

- ・名前
- ・住所
- ・電話番号

■ 緊急連絡先(2件)

- ・名前(続柄)
- ・電話番号
- ・主治医
- ・主治医・病院連絡先

■ 電話帳

- ・よく使う番号を記載して使用する。

多摩市在宅ノート

名前	
住所	
電話番号	

●緊急連絡先

名前	続柄
電話番号	

名前	続柄
電話番号	

主治医	
連絡先	

●電話帳(よく使う番号を書き込んで、使用して下さい。)

多摩市在宅ノート

名前	
住所	
電話番号	

●緊急連絡先

名前	続柄
電話番号	

名前	続柄
電話番号	

主治医	
連絡先	

●電話帳(よく使う番号を書き込んで、使用して下さい。)

このノートは、
医師や介護の
関係者をつなぐ
大切なノートです。
目の届くところに
置いて下さい。

1 多摩市の概要

●地域の基礎データ(H23.4.1)	
地域	多摩市
人口(A)	144,905人
65歳以上人口(B)	30,596人
高齢化率(A/B)	21.11%
第1号被保険者(C)	30,584人
要介護認定者(D)	3,574人
要介護認定率(D/C)	11.68%

東京都



多摩市



2-1 事業概要

■実施方法：直営

■多摩市は、「多摩市介護保険事業者連絡協議会」と「多摩市医師会」との協働により、医療と介護の連携について支援を行っています。

■「ケアマネタイム」を推進するとともに「医療と介護の連携ツール」作成を支援しています。

⇒ツールの1つが「在宅介護ファイルノート」

2-2 事業概要(イメージ)

多摩市介護保険事業者連絡会
(ケアマネジャー部会)

協働

多摩市医師会

多摩市

医療と福祉の連携
ツール作成を支援

在宅介護ファイルノート

ケアマネジャー

かかりつけ医

ケアマネタイムの推進



3 事業の目的

■平成18年度より、地域における「医療と介護の包括的・継続的ケアマネジメント」を支援するため、東京都福祉改革推進事業（当時）を活用し、「多摩市在宅介護ファイルノート」を作成、ケアマネを通じて、多摩市内の要介護認定者に配付を始めました。



4 実施に当たっての工夫点・留意点

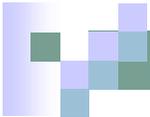
■「ケアマネ」主体によるノート作成

利用者にとってもっとも身近なケアマネが使いやすいノートの作成

⇒ケアマネ部会による検討チーム

■かかりつけ医へのPR

かかりつけ医に在宅介護ファイルノートの存在を知っていただくため、多摩市医師会を通じたPRを実施



5 事業の成果

■ ケアマネタイムの際に、かかりつけ医に利用者の生活状況や経過がスムーズに理解されるようになった。

⇒ 多忙な医師に迷惑をかけることなく、ケアマネタイムが実施できるようになった。

■ 緊急時に役立った。

利用者の緊急時（救急搬送時）に救急隊員により活用された。

⇒ 「緊急キット」のような活用



6 今後について

■ ケアマナタイム以外への活用

医療と介護の連携を進めるツール以外にも「緊急キット」のような活用ができないか検討を進める。

⇒ 多摩市の要介護認定者全ての自宅に「指定席」を決め、緊急時に活用する。

(「緊急キット」は冷蔵庫の中)

※緊急とは、医療のほか、認知症による徘徊、虐待なども想定(個人情報保護に留意する。)